



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武山 尚生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務部門統括 (氏名) 三浦 潔 (TEL) 052-805-8600
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,995	16.2	118	—	247	283.2	169	—
29年3月期第1四半期	5,155	△8.7	△47	—	64	△77.9	△87	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △22百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △548百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.63	—
29年3月期第1四半期	△5.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,841	17,592	61.4
29年3月期	27,536	17,691	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 17,120百万円 29年3月期 17,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,790	11.4	130	—	460	164.7	410	—	28.18
通期	24,300	6.9	540	49.7	1,240	33.3	1,040	83.1	71.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,400,000株	29年3月期	15,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	851,216株	29年3月期	851,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,548,784株	29年3月期1Q	14,548,830株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな景気回復基調が続きました。世界経済におきましては、米国政権の政策運営など海外政治情勢の不安要素を抱えたまま推移しました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界では、普通車や小型車の新型モデルの投入などにより国内新車販売台数が好調に推移しました。また、建設機械業界では、東京五輪開催に向けた建設関連特需や成長戦略推進が景気感を押し上げ好調に推移しました。

この様な環境の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は59億95百万円（前年同期比16.2%増加）、営業利益は1億18百万円（前年同期は営業損失47百万円）、経常利益は2億47百万円（前年同期比283.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億69百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失87百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 可鍛事業

当セグメントにおきましては、北米向けSUV系の受注が増加、国内外での公共投資による景気の下支えなどの建機需要の増加により、当社グループでは、売上高は57億89百万円（前年同期比17.2%増加）、セグメント利益（営業利益）は3億30百万円（前年同期比81.4%増加）となりました。

② 金属家具事業

当セグメントにおきましては、家具市場の回復が鈍い中、新商品の拡販活動に努めてまいりました結果、当社グループでは売上高は2億6百万円（前年同期比5.0%減少）、セグメント損失（営業損失）は5百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は278億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5百万円増加いたしました。主な要因は、その他（未収入金など）の増加などにより流動資産が3億29百万円増加したこと、工具、器具及び備品が増加したものの、その他（建設仮勘定など）の減少などにより固定資産が23百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億4百万円増加し、102億49百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が減少したものの、その他（未払費用など）の増加などにより流動負債が1億13百万円増加したこと、その他（長期リース債務など）の増加などにより固定負債が2億91百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、175億92百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,819	2,864,760
受取手形及び売掛金	4,249,881	4,131,826
電子記録債権	1,709,838	1,760,273
有価証券	29,991	30,003
商品及び製品	673,412	665,947
仕掛品	451,025	402,357
原材料及び貯蔵品	532,318	543,852
その他	337,681	661,118
流動資産合計	10,730,967	11,060,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,277	2,216,015
機械装置及び運搬具(純額)	4,673,037	4,635,315
工具、器具及び備品(純額)	537,985	722,972
その他(純額)	2,973,254	2,845,810
有形固定資産合計	10,472,555	10,420,113
無形固定資産	656,181	621,974
投資その他の資産		
関係会社出資金	3,042,004	3,056,741
その他	2,638,118	2,686,187
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	5,676,922	5,739,728
固定資産合計	16,805,658	16,781,816
資産合計	27,536,626	27,841,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,999,496	1,947,842
電子記録債務	1,916,598	2,001,106
短期借入金	67,000	46,210
1年内返済予定の長期借入金	264,113	264,234
未払法人税等	55,924	96,288
賞与引当金	291,787	73,468
その他	1,962,409	2,241,554
流動負債合計	6,557,330	6,670,704
固定負債		
長期借入金	1,388,254	1,322,528
役員退職慰労引当金	143,874	137,698
環境対策引当金	920	920
退職給付に係る負債	78,891	80,246
その他	1,675,866	2,037,421
固定負債合計	3,287,807	3,578,815
負債合計	9,845,137	10,249,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036,000	1,036,000
資本剰余金	574,405	574,405
利益剰余金	13,987,922	14,084,478
自己株式	△282,718	△282,718
株主資本合計	15,315,609	15,412,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734,451	769,114
為替換算調整勘定	1,099,857	887,889
退職給付に係る調整累計額	63,524	51,118
その他の包括利益累計額合計	1,897,833	1,708,122
非支配株主持分	478,046	472,148
純資産合計	17,691,488	17,592,435
負債純資産合計	27,536,626	27,841,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,155,763	5,995,055
売上原価	4,684,018	5,339,785
売上総利益	471,745	655,269
販売費及び一般管理費	519,362	536,430
営業利益又は営業損失(△)	△47,617	118,838
営業外収益		
受取利息	1,871	2,415
受取配当金	22,621	23,160
持分法による投資利益	126,490	112,901
その他	24,160	19,900
営業外収益合計	175,143	158,378
営業外費用		
支払利息	3,679	4,453
為替差損	58,198	25,031
その他	1,009	—
営業外費用合計	62,887	29,485
経常利益	64,638	247,732
特別損失		
固定資産除却損	1,192	2,084
災害による損失	196,987	—
特別損失合計	198,179	2,084
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△133,541	245,647
法人税、住民税及び事業税	8,011	102,072
法人税等調整額	△52,618	△23,795
法人税等合計	△44,607	78,277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,933	167,369
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,720	△1,929
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87,213	169,299

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,933	167,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,387	34,795
為替換算調整勘定	△163,829	△113,895
退職給付に係る調整額	△12,905	△12,405
持分法適用会社に対する持分相当額	△139,786	△98,072
その他の包括利益合計	△459,909	△189,578
四半期包括利益	△548,843	△22,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△547,733	△20,411
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,110	△1,796

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,938,677	217,086	5,155,763	—	5,155,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,938,677	217,086	5,155,763	—	5,155,763
セグメント利益又は損失(△)	182,010	△7,689	174,321	△221,939	△47,617

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△221,939千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,789,023	206,031	5,995,055	—	5,995,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,789,023	206,031	5,995,055	—	5,995,055
セグメント利益又は損失(△)	330,178	△5,997	324,181	△205,342	118,838

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△205,342千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、平成29年8月8日開催の取締役会において、以下のとおり新工場建設に係る設備投資計画を決議しております。

1. 設備投資の目的

主要工場である日進工場鑄造設備の老朽化に伴う生産効率の低下を解消するため

2. 設備投資の内容

岐阜県土岐市に新たな鑄造工場を建設するものであり、投資予定額は約40億円を見込んでおります。

3. 設備投資の時期

平成30年1月 着工予定

平成31年1月 操業開始予定

4. 設備投資の効果

今般の設備投資により、年間14,000トンの生産能力を見込んでおります。